

電気ストライク錠 ES-102(103)AWR 型

取付説明書



1. 事前の確認

- ・本製品は、扉枠にストライクパネルとして取り付け、自動施錠タイプ錠と組み合わせて使用するストライク錠です。
- ・扉側のラッチボルトが出たままの状態、電力の入切によりストライクを開閉し施解錠します。
- ・取り付ける前に、位置等が適合するか確認してください。
- ・推奨寸法： 扉のラッチストローク15 mm 扉と扉枠との隙間3 mm。
- ・錠種は「通電時施錠型」あるいは「通電時解錠型」です。錠種対応している制御盤あるいは操作機器類で作動させてください。
- ・施解錠信号出力、扉開閉信号出力はありません。

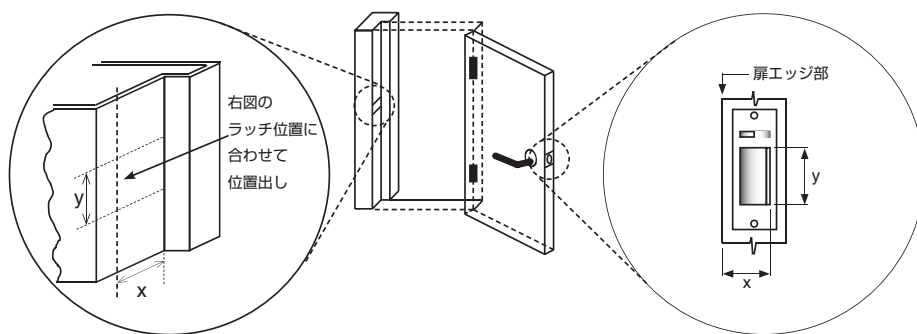
2. 仕様

| 品番 | 電線色 | 電圧 | 電流 | 保持力 | 使用温度範囲 | 防じん・耐水機能 | 出荷時錠種設定 |
|--------------|-----|-------|-------|--------------------|------------|----------|---------|
| ES-102AWR-12 | 赤 | DC12V | 243mA | 6669N (680 kgf) | -20 ~ 60°C | IP56 | 通電時施錠 |
| ES-103AWR-24 | 青 | DC24V | 187mA | | | | |

3. 取付手順

1 ラッチボルトの位置から、ドア枠への取付位置を決めます(図1)。

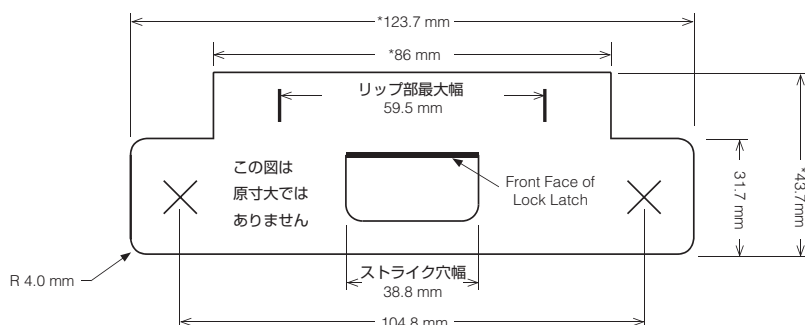
図1：扉枠への位置出し



2 テンプレートの裏紙を剥がし目印を左上図の y に合わせてドア枠に貼ってください。

3 テンプレート概略図(図2)を基にドア枠に穴位置等を記入してください。

図2：ストライク正面概略図



*製品は+0.8 mm/-0 mmの寸法許容差があります

4 テンプレートおよび下図に従い、ドア枠を掘り込み加工します。板金扉では（図3）、木扉では（図4）を参考にしてください。電線を通す穴も忘れずに加工してください。

図3：板金枠への取り付け

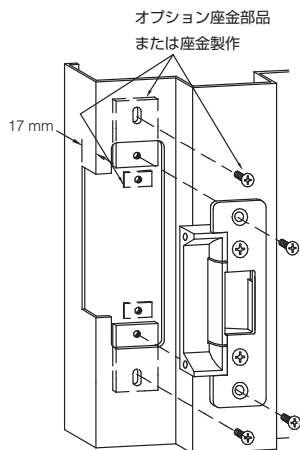
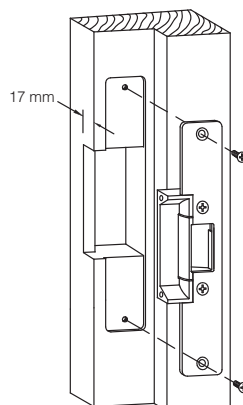


図4：木製枠への取り付け



- 5 本体の錠種設定を確認しておきます。
変更する場合は 4「錠種設定 変更方法」 にしたがって作業してください。
- 6 電線をつなぎ、本体をドア枠へ取り付けます。DC12V用の製品は電線が赤色、DC24V用の製品は電線が青色です。DCですが極性（プラス・マイナス）を変えても動きは同じです。そのためプラス・マイナスとも電線が同色です。電線は本体内の可動部や周辺に擦れたりしていないか確認してください。
- 7 ドアを開閉してみても各部品間の干渉が無いことを確認してください。
- 8 閉まる際にドアのラッチボルトがストライクをスムーズに乗り越えるか確認してください。
- 9 電気を入れて、作動を確認してください。

4.錠種設定 変更方法

- 1 本体脇の真鍮ねじを外してください。
- 2 静かに逆さまにして中のスプリングと3本のピン（長1本、短2本）を取り出してください。**小さい部品ですので紛失しないよう注意してください。**
- 3 ピンを錠種に応じた順に元通り差し込んでください。（図5 図6） そのあとスプリングを元通り差し込んでください。
- 4 真鍮ねじで元通りフタをしてください。

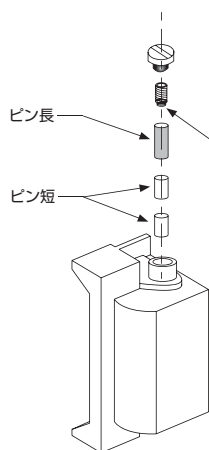


図5：通电時解錠型への組み込み

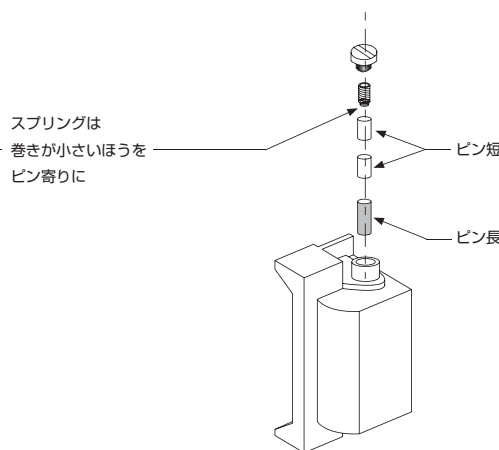


図6：通电時施錠型への組み込み

その他

サージ電流対策用にバリスタが付属しています。使う場合はできるだけ電気錠に近いところに接続してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内名拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/ 2017.03 0825-2